



鳥取のお気に入り

多機能な体育施設に感動!

鳥大の近くにある「布勢総合運動公園」は、陸上競技場や体育館など9つの体育施設がそろった便利な公園。部活のトレーニングに活用しています。緑の芝生広場もあって気持ちいいですよ。

さかい しゅん
4年 | 酒井 駿 さん [愛媛県立三島高等学校 出身]

■ 文章構成力はAO必勝の一手

野球に熱中、勉強は二の次だった高校時代。漠然と「理系の国公立大学・AO入試」という進路を思い描いてはいたけど、高3になってもまだゼ口に近い状態。部活引退後、担任の先生が親身になって資料提供やアドバイスをしてくださいました。その中で、幅広く学べる鳥大の社会開発システム工学科に目が留まったんです。AO入試に不安はなかったけど、願書には苦勞。文章構成が難しくて。主語・述語のつながり、同じ接続詞を続けない、1文を長くせず適当な所で区切るといった作文テクニックを国語科の先生に教わりました。また、予備知識のない人でも内容を理解できるよう注意。これらのコツは小論文や面接の場面でも役立ちました。

■ 主な社会問題は必ずチェックしよう

講義等理解力試験は、講義メモ持ち込みOKなので恐れることはなし。小論文のテーマは「事業仕分け」。ニュースでなんとなく知っている程度だったので焦りました。新聞を読むなど日頃から時事問題に意識を向けておくことは必須ですね。個人面接では6人の先生を前にして緊張MAX。深い突っ込みに頭が真っ白になる瞬間もあるけど、堂々とありのままの自分をアピールするのが一番。口頭試問では基礎的な英語力が問われますが、苦手な人はきちんと準備を。僕も事前に自己紹介を英訳して練習、おかげで本番は大成功でした。大学では新しいことに挑戦しようと思い、スキー部に所属。クロスカントリー競技に夢中です!

■ AO入試で求める人物像

募集人員(予定): 2人

【趣旨】 高い基礎学力を有するだけでなく、温かい人間性を身につけるために、幅広い教養といろいろなものへの理解を深め、自ら課題を設定して解決していく自主性と個性豊かな人材の育成を目的としています。このため、従来の学力試験による選抜方法と異なり、能力、適性、意欲、関心などを多角的に総合評価するAO入試を実施します。

社会開発システム工学科が目指すソフトなエンジニアリング技術の研究・教育に興味を持ち、さらに次のような人を求めます。

- 社会や政治、経済に興味があり、新聞や論説をよく読んでいる人
- 日本だけでなく、外国の文化や人々の考え方を学ぶことに興味を持つ人
- いろいろな事柄の仕組みについて、過去のしきたりにとらわれずに新しく工夫することが好きな人

平成26年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成26年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成27年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して 求める力

社会開発システム工学科では、社会や政治・経済および外国の文化や人々の考え方を学ぶことに興味があり、様々な事柄の仕組みについて、過去のしきたりにとらわれずに新しく工夫する人を求めます。

講義等理解力試験	本学科の教育内容や研究内容に関係する講義を、1名の講師が60分行い、その後、講義内容に関する筆記試験を60分行いました。
小論文	「気象庁による〈特別警報〉の新設について」をテーマに、60分で、自身の考えを400字に記述するものでした。
個人面接	5名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。
口頭試問	5名の試験委員による、1人あたり15分の個人試問を行い、基礎学力(数学、英語)を確認しました。

※ 工学部は平成27年4月に改組を予定しており、学科名が変更になる可能性があります。